

校舎増築で特別支援学級設置へ / 太田秀子市議が札幌北中の教育環境改善を質疑 / 2025 年 3 月 24 日 予算特別委員会



太田秀子市議は、東区の札幌北中学校の校舎増築について質問に立ち、特別支援学級の設置やトイレ・エレベーター整備など、教育環境の改善を求めました。

札幌北中学校には現在、特別支援学級が設置されておらず、校区を超えた中学校への通学を余儀なくされる生徒がいます。太田市議は、保護者から「教室が不足していることで、特別支援学級が作れない」「結局校区を超えた中学校に保護者が送迎を行いながら通学することとなりました」と、切実な声が上がっているとし、増築により整備される内容を問いました。

市教育委員会の学校支援担当部長は、「既存の校舎と同様に 3 階建てを想定」「特別支援学習室としても使用可能な普通教室 6 室分や美術室、多目的室」「トイレ、生徒用の昇降口」などを整備すると説明しました。

特別支援学級の設置に関しては、「今後詳細を検討していくことになりますけれども、多くの学校に設置している知的障害、自閉症、情緒障害などの学級につきましては、この地区においても設

置が想定される」と答弁があり、「今から関係する方たちと協議を」と要望しました。

太田市議は過去の質疑で、大規模校では空き教室が確保できない等の理由で支援学級が設置されない問題の解消を求めてきました。24 年 10 月の決算委員会では、東区の札幌地区は、札幌北小学校が 33 学級、札幌緑小学校は 31 学級の過大規模校、札幌北中学校は 28 学級の大規模校と、市内指折りの大規模校になっているもとで、「教育上の支障を、どのように判断しているのか」と追及。学校支援担当部長が、特別教室や体育館などの利用に一定の制限が生じる場合があることを認め、解消していく必要があるとの認識を示していました。

この日の質疑で、太田市議は、昨年の決算委員会で、フロアごとでは児童生徒の増加に見合うトイレが不足していた課題や、エレベーターの整備の見通しについて取り上げたことに関連して、「トイレの環境が改善されて、生徒が不安なくトイレを利用できるようになることをとても期待しています」と整備の進捗状況を確認。市は「各階に洋式トイレを増設」「バリアフリー対応のトイレを整備」「エレベーターは…増築の際に設置したい」と説明しました。太田市議は最後に「大規模校でとても窮屈な学校というのは…子どもたちにも学校職員にも我慢を強いている」「このたびの増築を機会に、ぜひ本市の学校規模のあり方などを見直していただきたい」と述べ、根本的な教育政策の見直しを求めました。